
最強な転生者

式滝

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

最強な転生者

【Nコード】

N3107Y

【作者名】

式滝

【あらすじ】

神のミスで死ぬはずの中学生を助けた男の転生物語処女作のうえ駄文なので温かい目で見てください。

プロローグ（前書き）

どうも作者の式滝です長い駄文になってしまいましたけどどうかおつきあってください。

プロローグ

「此処どこだ？」

たしか中学生らしき子を助けてかわりに、トラックにはねられたはずだよな？もしかして？テンプレ的なやつか？死後の世界ってほんと真っ白なのな。

そんなことを考えていると後ろから声がかかった。

「……当たり前ですよ、此処は死後の世界えのとおりみちですから。あと普通のテンプレと少し違いますから。」

声をかけてきたのは黒髪ロングのわかりやすくいうと大和撫子な綺麗な女性だ。

「……」「ふふふっ綺麗ななんてありがとうございます。」

「あれ？心を読んだのか？それと少し違っつてどおいうことですか？後あんた誰だ？」

「……」「はい読ませてもらいました。私の名前は邦子くにこです。少し違うのは神つまり私のミスで死ぬはずだったのは健君、ていう中学生のほうです。その子を助けてあなたは死にましたすいませんでしたそれとありがとうございます。おかげであの子はいきなげえることができました本当にありがとうございます！！」

「へっそりゃあよかった。」

邦「そのお礼にどの世界かはえらべませんが漫画やアニメ、小説

なんかの世界に特典つきてんせいしてもらいます。で特典はすきなだけあげます。」

「それはいいんだけどよー俺自分の名前が思い出せねえんだけど、どうしてなんだ？」

そう実は今自分の名前だけが思い出せないんだ死んだ家族や、優しくしてくれた親戚や友人の名前は思い出せるのに何でだ？

邦「それは、死んだ魂はこの通り道を通るとき記憶が消えて別の命なる準備をするかで、そうなる早い段階でとめたから名前だけ消えるということだけですんだんです。」

「ふ〜んありがとよ」

邦「いえ、もとはこちらのミスげえいんですから。それで特典はどうします？」

「そうだな？Get Backersの美堂 蛮と赤屍 蔵人の身体能力を合わせた感じであとその作品に出てくる人たちの才能と技術もくれついでに鬼魔羅も、あとほかの作品から型月の十二の試練と黄金律Aに李 書文の能力と直死の魔眼と・hack/ /GUのハセヲの武器と能力にスケイスそれと戦国BASARA3の石田三成、風魔 わざと能力風魔のほうはでかい手裏剣もくれえお市の大魔の手を使えるようにしてくれNEEDLESのスピードのフラグメントと重力のフラグメントと振動を操るフラグメント、めだかボックスから暗器術、西尾 維新さんの作品で忍法足軽と骨肉細工それと斬刀と絶刀の特性を合わせた刀を一本でもって伝勇伝から複写眼最後にレンタルマギカの妖精眼。」

邦「すごい頼みましたねせっかくですから能力のデメリットを消して魔力や気などのエネルギーがある世界ではそうゆうのを無限にしますよね、でもすごいチートですねとくに速さ、もう光速並みの速さですよ。」

「いや〜黄猿さんも速さは重さでいつてるしあたらなければどうということはないという名言もありますから。あっそれとしばらく力の特訓をさせてもらえるか？いきなり使って使えきれるかどうかわかんねーから。」

邦「いいですよそのドアからどうぞきがすんだらでてきてください、おおくりしますから。」

いわれたほうを見たらド えもんのどこで ドアがあった。

「ありがとうございます！ひとつ質問いいか？」

邦「はいなんですか？」

「あんたらの世界ってどんなとこ漫画やアニメとかしってるってことはそいうんがあるんだろ？」

邦「わかりやすくいえば、まかでみWAっしょい！みたいなせかいです。」

「マジ？」

邦「マジです！たのしいですよ。」

神様ってあんなにはっちゃんけてるんだと驚きながらどこでもドア

をくぐった。

プロローグ（後書き）

主人公の名前は次回書きます。

第一話 拾われました(前書き)

前回の予告どおり主人公の名前が判明します。

第一話 拾われました

side 修行部屋

いや〜修行楽しかったあっども　です前回から2000年ほど修行をしていました。最初は普通の修行だったのですが途中から漫画やアニメの技の練習をしていましたら七夜の体術とアサシンの燕返しができるようになりました。そして銃の扱いが想像よりうまくできるようになりました。銃関係はハセヲしかないはずなのに（できないはずの狙撃を20キロ先の雀を打ち落とせたりもした）そのあと氣や魔力の効率のいい運用方法を考え練習した。ちなみに魔法は使ったことが無いのでつかえない後で銃のことを邦子（神）に聞こうと考えながら修行部屋を出た。

最初の白い空間

「お〜い邦子転生する前にいくつか質問いいか？」

邦子「はい！なんででしょうか？」

「それほどうまくないはずの銃の扱いがうまくできたのは何ですか？」

邦「ああ〜それは出すね美堂　蛮のバトルの才能でブースとされいますからね、ほかにも芸術や知識も向上してるはずですよ。それにほかの能力どうしも相乗こうかであがっているはずですよ。」

あ〜だから特典に無い技が使えるようになったのか

「あと転生する場所は本当に割らないのか？」

やっぱりこいこのはいきさきがわからないのはふわんだな。

邦「すみません今はどうしてもわからないんです。おわびとってはなんですが、必要なものがあつたら遠慮なくくれんらくください電話をかける振りして頭の中で私を呼んでくださいそうしたらつながりますので。」

「なにからなにまでありがとう質問は以上だ始めてくれ。」

邦「それじゃあおげんきで。」

邦子がそういって俺の後ろに別のドアが現れた

「おう縁があつたらまた会おう。」

そういって俺がドアノブをまわすと。

バキッ！　　パカッ！

ドアノブが壊れ足元に穴が開いた。

そして俺は落ちていった。

side end

邦子 side 最初の白い空間

邦「とうとういってしまいましたねさてあの方はいったいどこに行

ってしまっただのしょうか？」

とつぶやいている間についたようだ

邦「え」と魔法に氣、魔法世界と正義の魔法使い……ネギま！？のせかいですねあの人はずいぶん大変なところに行きましたね。

「

まああれだけチートな能力を持っているんですから大丈夫でしょう。

邦子 *side end*

side 京都の森

「オギヤー？（あれここどだ、てか赤ん坊のスタートかよ）」

そして周りを見ると木、木、木わかりやすくいうと森である。

「オギヤツ？オツオギヤー！オギヤー！！（俺捨て子？まっまずいだれかひろてー！！）」

side end

詠春 *side* 京都の森

紅き翼の面々が別れて早数ヶ月私が森の中を散歩していたら赤ん坊の泣き声が聞こえた。

詠春「ん？こつちか？」

いつてみるとやはり赤ん坊うが捨てられていた。それにこの赤ん坊魔力はナギ、氣はジャックを大きく上回っていた。もとよりみすてては置けないと思いこの子を引き取ることにした。

詠「そついえばおまえ名前が無いな・・・よし！お前の名は亮、
近衛 亮だ。」

詠春 side end

第一話 拾われました（後書き）

亮は・hack / GUの小説でハセヲのリアルの名前です。

アンケートです斬刀と絶刀の合わさった刀の名前を募集します。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3107y/>

最強な転生者

2011年11月8日03時14分発行